

事業No.	事業名	修正項目	修正の方法	修正後	修正前
3	男女平等推進センター「ウィルながおか」での意識啓発事業 (人権・男女共同参画課)	実施状況・評価	追加	市民ボランティアとの協働でそれぞれの役割を担い、内容、回数とも計画どおり開催できました。	
		今後の課題・取り組み方向等	追加	・これまでウィルながおかを知らなかった層にも広く周知するため、テーマの設定及び周知方法を検討します。	
6	小・中学校の児童生徒への男女共同参画学習 (学校教育課)	実施状況・評価	追加	全市立学校の <u>全学年において、各校の道徳等の年間指導計画</u> に応じて、男女平等、男女共同参画に関する学習を実施することができました。	
7	小・中学校の教職員を対象とした男女共同参画に関する研修 (学校教育課)	実施状況・評価	追加	・全市立学校の教職員を対象とした人権研修会で男女共同参画についての内容の研修を実施し、 <u>92名が参加しました。</u> ・ <u>全市立学校において、全教職員を対象とした男女共同参画(男女平等、相互理解と協力)に関する校内研修を年2回以上実施しました。</u>	
8	幼児への男女共同参画教育(保育課)	実施状況・評価	追加	園長を対象に研修を実施し、 <u>対象園102園のうち96名が参加しました。</u>	
12	コミュニティでの女性の参画促進	実施状況・評価	変更	退職後の再就職先の一つとして、女性が意思決定への参画や指導的役割を担って活躍できる「 <u>地域コミュニティ</u> 」が認知されてきています。	退職後の女性の活躍の場として、「 <u>地域コミュニティ</u> 」という選択が認知されてきています。
13	防災分野での女性の参画促進(危機管理防災本部)	実施状況・評価	変更	これにより、女性委員の数を従前の3人から11人(55人中)に増加し、長岡市防災会議における <u>女性の参画の拡大を図りました。</u>	これにより、女性委員の数を従前の3人から11人(55人中)に増加し、長岡市防災会議における <u>女性の視点の多角化を図りました。</u>
		令和5年度実施計画	変更	女性委員の割合を増やす取り組みとして、 <u>長岡市防災会議条例第3条第5項第7号の規定を柔軟に運用することで、7号委員が事実上「充て職化」している状態を改め、職階に拘泥することなく女性職員を委員に推薦するよう関係機関に対して強力に要請します。</u> 令和5年度は改選期ではありませんが、 <u>人事異動等に伴い、委員の変更が生じた際は、関係機関に上記要請をし、女性の参画の拡大を図ります。</u>	<u>人事異動等に伴い、委員の変更が生じた際は、女性職員を委員に推薦するよう関係機関に対して要請します。</u>

16	雇用の場におけるダイバーシティの推進【女性活躍】 (産業立地・人材課)	令和4年度実施計画	追加 ※過去年度であるが、事業内容がやや不明確であったため、説明を加えたもの	・働き方プラス応援プロジェクト賛同企業の中から毎年手挙げにより実施企業を決定し、働き方改革や人材育成等の企業が抱える問題の解決に向けたコンサルタント(2社対応予定)、企業別研修会(6社対応予定)を開催します。
		実施状況・評価	追加	研修会を6社(株)スミック、(株)ジャベックスプライン、(株)泉屋、(株)システムスクエア、(株)ハヤカワロストワックス、(株)近藤電設工業)、コンサルティングを2社(株)スミック、(株)NTC)で行いました。
		令和5年度実施計画	追加	・働き方プラス応援プロジェクト賛同企業の中から毎年手挙げにより実施企業を決定し、働き方改革や人材育成等の企業が抱える問題の解決に向けたコンサルタント(2社対応予定)、企業別研修会(6社対応予定)を開催します。
17	女性農業者向け研修会の開催支援【女性活躍】 (農水産政策課)	実施状況・評価	追加	・残念ながら少数の参加者でしたが、これまで機会があっても女性が参加しにくい農業研修会がほとんどであったが、女性農業者を対象としたセミナーを開催したことで、 <u>女性農業者の意向向上につながりました。</u>
		今後の課題・取り組み方向等	追加	・研修会や視察研修は参加した女性農業者の満足度が高く、実施の要望が多いため、ニーズを <u>把握し、多くの方が参加できる研修会等を開催します。</u>
22	ながおかヘルシープラン21の推進	実施状況・評価	追加	・自殺対策として、こころの健康講座(21回362人参加)、ゲートキーパー研修会(12回350人参加)などの啓発事業、こころの健康相談会(47回66人)やSNS等相談連携事業の相談事業等の他、 <u>庁内関係課・庁外の関係団体と連携を図りながら取り組みました。</u>
		今後の課題・取り組み方向等	追加	・令和6年度からの第2次自殺対策計画の策定に向けて、 <u>重点的に取り組むべき対象および方向性を検討します。</u>

25	思春期・青少年相談	実施状況・評価	追加	・男女共同参画の視点を 含む相談者の主訴をもと に、養育、就労や社会生 活における困難さを解消 し、学校生活や社会生活 で活動することができる よう、必要な機関につな いだり、相談支援を行っ たりしました。	
26	介護予防事業	実施状況・評価	変更	延べ502人に行い、男女間 わず参加しやすい事業を 実施しました。	延べ502人に実施し、 高齢者への健康支援を 行いました。
			追加	・引き続き、男女間わ ず、参加しやすい事業の 展開を進めてまいりま す。	
28	母子・父子自立支援プログラム策定事業【女性活躍】	実施状況・評価	追加	※R3年度はコロナによる 雇用不安のためか、相談 が多くありました。	
29	生活困窮者自立相談支援事業【女性活躍】	実施状況・評価	変更	R4新規相談登録件数 265 件（男150女115） R3新規相談登録件数 472 件（男281女191） ・件数はR4年度減少した が、男女比としてR3年度 男性は女性の1.47倍がR4 年度には1.3倍と女性の割 合が増加しています。女 性は経済的困窮、就職困 難、性的被害、家庭関係 問題など多問題複合的な 課題を抱える事例が増加 しているため今後も個人 の状況に応じたきめ細か な支援ができるよう努め てまいります。 ・昨年度の主な支援とし て、住居確保・安定、就 労開始、収入増加、債務 整理、家計改善、医療受 診などによる体調改善な どを行いました。	R4年度 新規相談登録件数 265件 新規相談件数は前年度 より減少したが多問題 複合的な課題を抱える 事例が増加しているた め今後もきめ細やかな 対応ができるよう努め てまいります。
30	生活困窮者学習支援事業【女性活躍】	実施状況・評価	説明の変更	・生活保護世帯及び就学 援助基準にある世帯で、 学校生活になじめないな どの理由で学校等から依 頼のあった小学生、中 学生、高校生を対象に月～ 土まで教室を開催し、学 習支援を行っています。 R4年度 利用者 9人 利用回数 延べ 409回 ・子どもの居場所の提供 により、子どもを持つ親 等が安心して働くことが できました。	生活保護世帯及び就学 援助基準にある世帯で 学校等から依頼のあつ た小学生、中学生、高 校生を対象に月～土ま で教室を開催していま す。 R4年度 利用者 9人 利用回数 延べ 409 回

<p>31</p>	<p>多様な活躍に繋がる学びや体験の機会の提供【女性活躍】</p>	<p>実施状況・評価</p>	<p>追加</p>	<p>キャリアアップでは「キャリアアップに対して、マイナスなイメージ（大変そう）が強く、自分ではキャリアアップ志向はなかったが、今回の受講でプラスのイメージに変わった」、政治では「私たちが市民としてどのように政治を考えるか、選挙の投票時に立候補の精査をしっかりと投票するなど、小さいことから政治に関わっていけるようにしていきたい」、市民活動では「力になりたいと心が動いたものは、ボランティアとして活動したいと思う。また、その現場で知ったことを広めていきたい」、起業では「起業に必要な“「礼儀」「体力」「想い」”や、自分で考えぬき自分で決め、主体的に行動する、という精神（心構え）は、ビジネスを立ち上げる側だけでなく、普段働いている中でも生きてくる、必要なものだと思います」、など、前向きな感想が多数でした。また、回を重ねるごとに、受講者同志で学びや討論を深めることができているので、充実しているという感想もあり、互いに刺激になっている様子も伺えました。参加者は熱心に聴講し、ワークショップで考えを深めました。</p> <p>・アンコンシャス・バイアスセミナーを2月13日に開催し、コミュニティセンター職員34人が無意識の偏見について理解を深めました。アンケートから、「自分の考え方や価値観を変える良いきっかけになった」「普段、無意識に使っていた言葉が正にバイアスの可能性があることに気付かされた」など、88%が参考になったとの回答でした。</p>	
<p>32</p>	<p>多様な活躍に向けた啓発・情報発信【女性活躍】</p>	<p>実施状況・評価</p>	<p>削除</p>	<p>(削除)</p>	<p>・女性活躍の障壁となる無意識の偏見に気づくセミナーをコミュニティセンター職員を対象に開催します。(事業No.15再掲)</p> <p>・アンコンシャス・バイアスセミナーを2月13日に開催し、コミュニティセンター職員34人が無意識の偏見について理解を深めました。</p>
<p>予算額（千円）</p>		<p>額の変更</p>		<p>2,100</p>	<p>2,590</p>

		今後の課題・ 取り組み方向 等	削除	(削除)	・アンコンシャスバイ アスセミナーは実際に どのように対処できる か学べるよう工夫しま す。
		決算額 (円)	額の変更	1,882,291	2,376,317
		令和5年度実 施計画	記載の削除	(削除)	・女性活躍の障壁とな る無意識の偏見に気づ くセミナーをコミュニ ティセンター職員を対 象に開催します。(事 業No.15再掲)
34	起業・創業支援【女性活躍】	実施状況・評 価	追加	参加者 <u>23名</u> の9割以上から	参加者の9割以上から
35	ワーク・ライフ・バランスの推進【女性活躍】	実施状況・評 価	変更	・長岡市女性活躍推進会 議を6月3日に開催し、公 共職業安定所、労働基準 監督署、商工会議所など <u>関係機関の担当者の顔合 わせを行いながら、各機 関の女性活躍推進に係る 年間の取り組みや情勢につ いて情報共有や意見交換 を行いました。</u> ・6月21日～7月5日にア オーレ長岡、7月6日～20 日にながおか市民セン ター、就職ガイダンスで 26社のパネルを展示し、 <u>男女ともに働きやすい職 場づくりに取り組む企業 について、幅広く市民や 学生にPRしました。</u>	・長岡市女性活躍推進 会議を6月3日に開催 し、公共職業安定所、 労働基準監督署、商工 会議所など関係機関の <u>取り組みを情報共有しま した。</u> ・6月21日～7月5日に アオーレ長岡、7月6日 ～20日にながおか市民 センター、就職ガイダ ンスで26社のパネルを <u>展示しました。</u>
36	働きやすい職場環境推進事業【女性活躍】	実施状況・評 価	変更	・働き方改革相談員が市 内企業訪問を延べ154回 <u>(R3は174回)</u> 実施し、	・働き方改革相談員が 市内企業訪問を延べ 154回実施し、
37	ハッピー・パートナー企業登録促進【女性活躍】	実施状況・評 価	追加	市内の登録企業は令和5年 3月31日時点で <u>139社</u> です <u>(6社増)</u> 。	
39	相談機能の充実【女性活躍】	実施状況・評 価	追加	・令和4年度相談件数は <u>18件</u> でした。性別：男性4 件、女14件 年代：40代8 件、20・50代各4件、60 代2件 内容：職場の人間 関係10件、ハラスメント 関係・再就職・キャリア アップ各3件等。	

45	子育ての駅の運営【女性活躍】	実施状況・評価	変更	<p>子育ての駅なかのしま「なかのんひろば」 相談活動12回、 子育ての駅こしじ「のびのび」 相談活動12回、 子育ての駅みしま「もりもり」 相談活動12回、</p> <p>子育ての駅おぐに「たんぼぼ」 相談活動12回、 子育ての駅わしま「わくわく」 相談活動12回、 子育ての駅てらどまり「にここ」 相談活動12回、 子育ての駅かわぐち「すこやか」 相談活動12回、講座12回、行事75回</p>	<p>子育ての駅なかのしま「なかのんひろば」 相談活動0回、 子育ての駅こしじ「のびのび」 相談活動0回、 子育ての駅みしま「もりもり」 相談活動0回、</p> <p>子育ての駅おぐに「たんぼぼ」 相談活動0回、 子育ての駅わしま「わくわく」 相談活動0回、 子育ての駅てらどまり「にここ」 相談活動0回、 子育ての駅かわぐち「すこやか」 相談活動0回、講座0回、行事75回</p>
49	保育園併設地域子育て支援センター等の運営【女性活躍】	実施状況・評価	変更	<p>・子育て支援センター実施園（24園）をはじめ、事業を実施していない園についても相談を受け付けています。（令和4年度支援センター相談7,226件）</p> <p>・24園のうち9園で「ままナビ講座」を実施しています。（令和4年度68回実施、延べ313人参加）</p>	<p>・子育て支援センター実施園（24園）をはじめ、事業を実施していない園についても相談を受け付けています。</p> <p>・9園で「ままナビ講座」を実施しています。</p>
50	多様なニーズに応じた保育の実施【女性活躍】	実施状況・評価	追加	<p>・延長保育、休日保育、病児・病後児保育は入園児童数の減少に伴い利用数が減少したものと考えられます。</p> <p>・一時保育は新型コロナウイルス感染症の制限緩和により利用数が増加したものと考えられます。</p>	
51	高齢者や介護者の相談窓口の運営【女性活躍】	実施状況・評価	追加	<p>地域包括支援センターにおいて、関係機関・団体と連携しながら、男女問わず多くの方からの高齢者に関する様々な相談に対応しました。</p>	
		今後の課題・取り組み方向等	変更	<p>引き続き、地域包括支援センターにおいて、関係機関・団体と連携しながら、<u>性差による介護負担が生じないよう</u>、高齢者に関する様々な相談に対応します。</p>	<p>引き続き、地域包括支援センターにおいて、関係機関・団体と連携しながら、高齢者に関する様々な相談に対応します。</p>
		令和5年度実施計画	変更	<p>地域包括支援センターにおいて、関係機関・団体と連携しながら、<u>男女問わず高齢者に関する相談</u>に対応します。</p>	<p>地域包括支援センターにおいて、関係機関・団体と連携しながら、高齢者に関する相談に対応します。</p>

53	外国人、障害者、高齢者に配慮した相談窓口の周知	実施状況・評価	変更	<p>・多言語情報誌及びFM多言語放送において、やさしい日本語、英語及び中国語で相談窓口を周知しました。ホームページ（英語、中国語）に「長岡市DV防止ネットワーク」へのリンクを掲載し、<u>より専門的な相談窓口へ繋がるための工夫を</u>しました。</p> <p>・<u>高齢者虐待防止について、民生委員協議会などの関係者への周知だけでなく、男女問わず誰でも相談しやすいようリーフレット等で周知しました。</u></p>	<p>・多言語情報誌及びFM多言語放送において、やさしい日本語、英語及び中国語で相談窓口を周知しました。ホームページ（英語、中国語）に「長岡市DV防止ネットワーク」へのリンクを掲載し、<u>より専門的な相談窓口へ繋がるための工夫を</u>しています。ホームページはイベント情報を中心に日常的に更新しており、外国人市民にとって情報入手手段のひとつとなるよう工夫しています。</p> <p>・<u>高齢者の相談窓口についてリーフレット等で周知しました。</u></p>
		今後の課題・取り組み方向等	変更	<p>・引き続き、多様な広報手段を用いて、<u>男女問わず誰でもが相談しやすいよう相談窓口について周知</u>します。</p>	<p>・引き続き、多様な広報手段を用いて<u>相談窓口について周知</u>します。</p>
		令和5年度実施計画	変更	<p>・<u>男女問わず、高齢者が気軽に相談できるよう、引き続き相談窓口の周知に努めます。</u></p>	<p>・<u>高齢者が相談できるよう、より分かりやすい相談窓口の周知方法を検討</u>します。</p>
54	学校における性暴力やセクシュアル・ハラスメントの防止	実施状況・評価	変更	<p>・全市立学校において、<u>全教職員を対象とした非違行為根絶研修時などに時間を確保し、セクシュアル・ハラスメント防止についての校内研修を実施し、意識啓発を行いました。</u></p>	<p>・全市立学校において、非違行為根絶研修時など、時間を確保しセクシュアル・ハラスメント防止についての研修会を実施し、意識啓発を行った。</p>
56	児童生徒の被害相談への対応・支援	実施状況・評価	変更	<p>・全市立学校において、<u>全教職員を対象とした非違行為根絶研修時などに時間を確保し、スクール・ハラスメント防止についての校内研修を実施し、意識啓発を行いました。</u></p> <p>・年度末に児童生徒・保護者及び教職員を対象に<u>体罰アンケート（体罰・暴力的な言動）</u>を実施し、状況把握に努めました。</p> <p>・令和4年度は被害発生<u>の報告はありません</u>でした。</p>	<p>・年度末に児童生徒及び保護者に体罰アンケートを実施し、状況把握に努めた。</p> <p>・令和4年度は被害発生<u>の報告はなかった。</u></p>

58	相談従事者の研修の充実	実施状況・評価	変更	<p>・女性支援を行うNPOのスタッフ5名を交えてケース検討会議を毎月1回開催し、情報共有と対応検討を行いました。</p> <p>・長岡市内の弁護士(有志による弁護士2~5名)とセンター相談員が隔月で情報交換会を実施し、具体的なケースへの対応について弁護士の意見を聞き、検討しました。</p> <p>・相談員が心のセルフケアを行うための講座「相談員のためのセルフメンテナンス講座」を開催し、相談業務にあたる市の6部署から11人が参加しました。</p>	<p>・ケース検討会議を開催し、情報共有と対応検討を行いました。</p> <p>・長岡市内の弁護士と相談員が隔月で情報交換会を実施しました。</p> <p>・相談員が心のセルフケアを行うための講座「相談員のためのセルフメンテナンス講座」を開催し、市の各部署で相談業務にあたる職員11人が参加しました。</p>
		今後の課題・取り組み方向等	変更	<p>また、相談員のセルフケアのための講座は市の22の窓口と市内外7つの関係機関を対象としてきましたが、市内部では全庁に周知を行い、市民と対面で対応する職員全般を対象として開催します。</p>	<p>また、各部署の相談員のセルフケアのための講座も引き続き開催していきます。</p>
59	配偶者暴力相談支援センターの運営	今後の課題・取り組み方向等	追加	<p>・男性の被害相談も寄せられますが、配偶者の双方から被害を訴えるケースや加害者の立場からと思われる連絡も含まれ、被害者の安全確保を優先に慎重に対応します。</p>	
60	関係機関と連携した相談の実施	実施状況・評価	変更	<p>・障害者相談のうち、DV関連ケースについて、配偶者暴力相談支援センター等と情報共有をしながら対応をしました。</p>	<p>・障害者相談のうち、DV関連ケースについて、配偶者暴力相談支援センター等と情報共有をしながら対応します。</p>
62	母子・父子自立支援プログラム策定事業 (No.28の再掲)	実施状況・評価	追加	<p>※R3年度はコロナによる雇用不安のためか、相談が多くありました。</p>	
74	国・県および周辺市町村などとの連携	実施状況・評価	変更	<p>・国や県主催の研修等に参加し、担当職員のスキルアップや連携強化を図りました。(男女共同参画行政職員基礎研修1名、ひとひとフェスティバル1名等)</p> <p>・婦人相談員研修会(2名)、DV防止ネットワーク連絡会議(定住自立圏内市町村から参加)、男女共同センター意見交換会(1名)等に参加し、県内外市町村との情報共有や連携強化を図りました。</p>	<p>・国や県主催の研修等に参加し、担当職員のスキルアップや連携強化を図りました。(男女共同参画行政職員基礎研修、ひとひとフェスティバル等)</p> <p>・婦人相談員研修会、DV防止ネットワーク連絡会議等に参加し、県内外市町村との情報共有や連携強化を図りました。</p>